

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年4月20日	記入者		連絡先	2632	
平成18年度部名	保健福祉部	課名	介護予防推進室	課長名	佐藤浩三	
平成19年度部名	保険高齢部	課名	介護予防推進課	課長名	佐藤浩三	
事務事業名	閉じこもり予防事業					
予算上の事務事業名	閉じこもり予防事業					
1 総合計画における位置づけ				施策コード	11210	
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくります					
基本施策名	第2節 いきいきとした高齢社会の創造					
施策名	第1施策 地域ケアサービスの充実					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等						
3 個別計画の概要				概要		
計画名	第3期高齢者保健福祉計画			加齢や疾患により心身機能が低下したため、社会性を喪失し、閉じこもりがちになる者に対して機能訓練を行う。		
計画年次	平成18	年度～	平成20			
4 事業形態の区分	サービス提供 ▼			5 事業開始年度	平成18年度 ▼	
6 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)		
機能訓練や、参加者相互の関係づくりを通じ、社会性の再獲得や閉じこもりの解消を目指す。				家に閉じこもりがちな高齢者等		
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
ひなた倶楽部 1コース12回開催を基本とし、レクリエーション、手工芸、調理実習、外出訓練などのプログラムを実施した。 り・はびりす 毎週2回、リハビリと労働を通じたセルフグループ活動の実践するため、通所により、木工製品の製作・販売を行った。 言語リハビリ友の会 毎月第1・第3月曜日に行われる会の自主活動に対する支援として、移送と会場確保を行った。						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
8 事業費の推移	[単位：千円]					
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	0	0	1,480	1,596	1,596	
一般財源	0	0	1,480	1,596	1,596	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	0	0	3,220	3,220	3,220	
事業コスト合計	0	0	4,700	4,816	4,816	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	ひなた倶楽部			対象名称 と単位	延参加者数(人)	
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)			2,550	2,550	2,550	
対象数			180	300	300	
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	14,167	8,500	8,500	
前年度比		#DIV/0!	#DIV/0!	0.60	1.00	

10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	ひなた倶楽部の延参加者人数の対前年度比（％）	指標式と指標の説明	本年度延参加者数 / 前年度延参加者数 × 100 参加者数の伸び率の状況		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績			104.0		
目標			100.0	100.0	100.0
目標達成度（％）	#DIV/0!	#DIV/0!	104.0		
11 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	要支援・要介護認定者数の推計値に対する要支援・要介護認定者数の実績値	指標式と指標の説明	要支援・要介護認定者数の推計値 ÷ 実績値 × 100 推計認定者数に対する実績値の達成状況		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績			104.7		
目標			100.0	100.0	100.0
目標達成度（％）	#DIV/0!	#DIV/0!	104.7		
12 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
C	<input type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
13 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[ ]：良好な状態を維持する事業				
	[ ]：概ね良好な状況である事業				
	[ ]：見直しを行う必要がある事業				
	[ ]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		事業参加者が少なく、費用対効果の面では低い評価となることから、実施方法等についての見直しを図る必要がある。しかしながら、今後高齢者人口が増えていく中で、閉じこもり予防に対するニーズも高まり、そうした状況からも、本事業が果たす役割は大きいことから、実施方法等についての再検討を行い、より充実を図る必要がある。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
14 成果向上及び効率性を高めるための方策			15 課題として認識されたこと		
本事業については、潜在的な需要があると考えられることから、対象者が参加しやすい内容、条件を整えることが望ましい。			事業の対象者は、家に閉じこもりがちな高齢者等であるため、自ら進んで通所し、事業へ参加しようとする意識が低いことから、送迎サービスなど、参加者のインセンティブが働くような方策が必要である。		
16 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		成果を検証し、より効果的な事業の実施を進める。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			